

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公開番号】特開 2020-8974 (P2020-8974A)

【公開日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2018-127329 (P2018-127329)

【国際特許分類】

G 0 6 K 7/00 (2006.01)

H 0 1 R 12/73 (2011.01)

G 0 6 K 19/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 7/00 0 7 3

H 0 1 R 12/73

G 0 6 K 7/00 0 2 1

G 0 6 K 19/00 0 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 24 日 (2021.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本実施の形態のコネクタ 2 0 は、ハウジング 2 2 及びシールド部材 2 4 から、全体として平板形状を有するように形成されている。但し、カードトレイ 3 0 に搭載されたカード 8 0 を電子機器 1 0 の電子回路（図示せず）に電気的に接続できる限り、コネクタ 2 0 の構造は、特に限定されない。また、コネクタ 2 0 は、電子機器 1 0 から取り外し可能であってもよく、電子機器 1 0 と一体に形成されていてもよい。即ち、コネクタ 2 0 は、電子機器 1 0 と別体の装置であってもよく、電子機器 1 0 の一部であってもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

図 6 及び図 1 4 を参照すると、本実施の形態によれば、可動部 5 0 及び排出制御機構 6 0 の様々な部材は、いずれも金属性であり良好な導電体である。可動部 5 0 が初期位置及び後方限界位置のいずれにあるときにも、可動部 5 0 及び排出制御機構 6 0 の様々な部材は、互いに電気的に接続されている。詳しくは、可動部 5 0 が初期位置及び後方限界位置のいずれにあるときにも、バネ部 6 8 の夫々の接続端 6 8 2 は、第 1 端子 6 2 に接続されており、バネ部 6 8 の夫々の排出端 6 8 4 は、可動部 5 0 と接触している。可動部 5 0 は、被ロック部 5 8 8 及びロック部 7 2 8 を介して、シェル 7 0 と接触している。また、図 9 を参照すると、シェル 7 0 の上板 7 2 は、第 2 端子 6 4 の接続部 6 4 8 に接続されている。即ち、シェル 7 0 は、第 2 端子 6 4 と接触している。